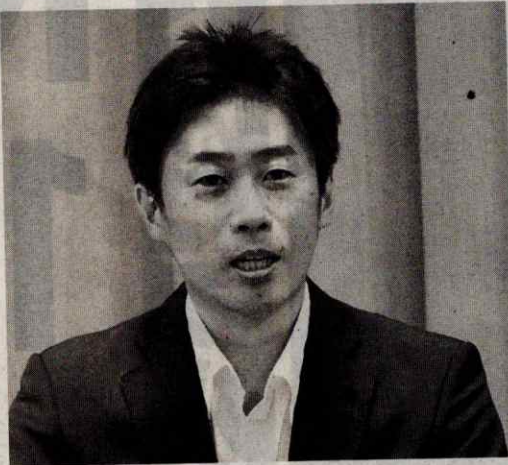




やまざき しんのすけ
山崎 真之輔氏 40 無新

人の命を救いたい

「思った以上に大きな選挙になった。戸惑いもあるが、今は『やってやろう』という気持ち」。衆院選の前哨戦とも言われる今回の参院補選を語る。浜松市出身。小学生のころの夢は浜松市長だった。だが、中学、高校と進み、医者になった。中学3年時、脾臓がんを患い、日を追うごとに弱る

祖父の姿を見たのがきっかけ。しかし、医学部入試の必修科目を勉強しておらず、受験に失敗した。そして、予備校時代の教師にももらった一言で再び方向を転換する。「人の命を救うのは医者だけでない。仕組みを変えろという政治家や弁護士も命を救える」。「広く社会

一般を救えるかもしれない職業に就きたい」と政治家を意識した。

浜松市議と県議を計15年。一貫して防災に力を入れてきた。県議になったときは東日本大震災の後だったため、人々の安心を得るためにどうすべきか考えた。7月に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害についても、盛り土の規制のように今回の土石流災害で新しい課題も浮上した。参

院議員になった後も引き続き関わりたいと力を込める。自身に強い影響を与えた人物として、スズキの鈴木修元会長を挙げる。「言ったことは絶対を守る。信頼できる方。（参院選について）『力の限りやりなさい』と会う度に言ってくる」。高校生の長女と小中学生の長男、次男、妻と5人暮らし。趣味は音楽とスポーツで、車の中でよく歌う。

【金子昇太】